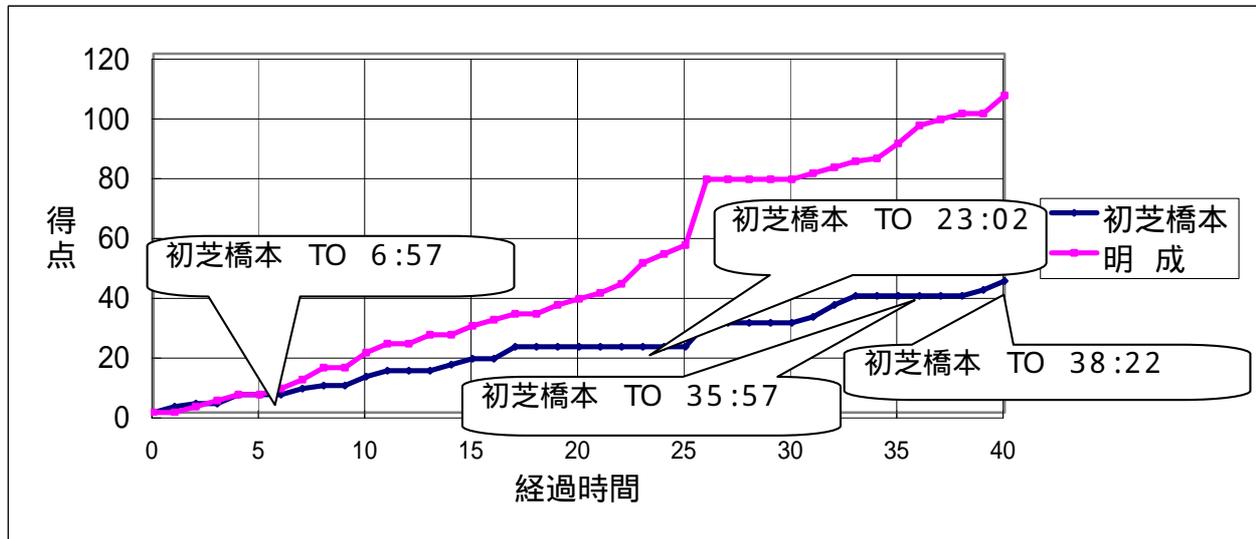


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	G5	16:10	男子 1回戦															
	期日	2007年(平成19年)7月29日(日)	初芝橋本 44 和歌山	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>8</td><td>-</td><td>40</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>27</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	12	-	21	10	-	18	8	-	40	14	-	27	-	-	-
					12	-	21												
10	-	18																	
8	-	40																	
14	-	27																	
-	-	-																	
会場	唐津工業高等学校			106 明成 宮城															

主審 川原 禎仁

副審 中島 秀樹



## 初芝橋本

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	青山 敬多	8	0	3	2	4
5	西 洋平	5	0	1	3	2
6	大西 駿佑	8	0	4	0	4
7	三井 峻輔	23	3	5	4	4
8	井手 佑樹	0	0	0	0	0
9	宮村 志郎	0	0	0	0	2
10	中尾 彬寛	0	0	0	0	0
11	山原 雄哉	0	0	0	0	0
12	西 拓也	0	0	0	0	0
13	門脇 雅俊	0	0	0	0	1
14	森崎 由大	0	0	0	0	0
15	長江 裕介	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	石橋 隆文					
	合計	44	3	13	9	

## 明成

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	安藤 雄志	5	1	1	0	1
5	畠山 俊樹	4	0	1	2	3
6	伊藤 駿	7	1	2	0	0
7	小野 大貴	17	3	4	0	3
8	名塚 裕貴	8	2	1	0	2
9	佐藤 文哉	18	6	0	0	0
10	佐藤 卓哉	14	0	5	4	0
11	佐藤 琢	2	0	1	0	2
12	新妻 一輝	2	0	1	0	1
13	石川 海斗	13	2	3	1	0
14	中川 真雄	12	0	5	2	3
15	宮澤 耀佑	4	0	2	0	0
16						
17						
18						
コーチ	佐藤 久夫					
	合計	106	15	26	9	

はスターター(はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

## 戦評

創部3年目でインターハイ初出場ながら前評判の高い明成と、節目となる10回目出場の初芝橋本との対戦は、攻守ともに圧倒した明成が勝利し、明日の2回戦に進んだ。

第1P、初芝橋本は、3-2ゾーン、明成はハーフコートマンツーマンでスタートする。初芝橋本は#7三井が3P、ドライブインと孤軍奮闘するも、せっかく得たフリースローの確率が悪く得点が伸びない。一方明成は外角シュートの確率が今ひとつ悪いものの#10佐藤卓が速攻、リバウンドによく絡み、12対21と明成リードで第1Pを終了する。

第2P、相手の厳しいディフェンスに得点が伸びない初芝橋本に対して、明成は#13石川が速いタイミングからシュートを放ち、#7小野と共に得点を重ね、22対39とリードを広げ前半を終了する。

第3Pに入ると初芝橋本は全くシュートが入らず、約7分間無得点が続く。一方、明成は外角シュートのチェックが甘くなった初芝橋本に対し、#9佐藤文が5本の3Pを沈めたのをはじめ、内外角満遍なく攻め、このピリオド8対40として、一気にリードを広げる。

第4Pも内外角バランスよく攻めた明成に対し、中盤5分間無得点の時間帯が続いた初芝橋本も最後まで粘りを見せたが、攻守ともに圧倒した明成が44対106で勝利した。

記載者	池田 聖司 (所属) 佐賀県バスケットボール協会
-----	--------------------------